

本を選ぶ

- 子どもの権利を子どもたちの手に
- 「めくる楽しさ」提供するメディアに
- 「学校司書」というお仕事！
- 「10代がえらぶ海外文学大賞」、はじめられます。●DMかたろぐ

2025年(令和7年)4月10日

●発行/ライブラリー・アド・サービス
〒114-0002 東京都北区王子 4-23-4 TEL:03-6908-4643
<https://www.las2005.com>

●●●●●ろん・ぼわん●●●●●

子どもの権利を子どもたちの手に

堀切 リエ

2024年は国連子どもの権利条約を日本が批准して30年ということもあり、子どもの未来社では、この機に子どもの権利を子どもたちの手に渡したいと、以下の本を出版しました。

2022年に成立したこども基本法（2023年施行）は、子どもを権利の主体ととらえ、子どもを社会のまんなかにおいて、子どもの権利を実現していくとする総合的な法律です。子どもたちにこそこの法律を読んでほしいと、弁護士や子どもの権利の専門家たちと『[こども基本法 こどもガイドブック](#)』をつくりました。法律の理解と共に、子どもの権利について知り、権利が守られてない時にはどうするか、またどうやって権利を行使するのかもわかりやすく伝える本です。

『[あなたが学校でしあわせに生きるために 子どもの権利と法律手帳](#)』は、学校で起きる問題に、弁護士が権利と法律の面からアドバイスします。まず、誰にも「しあわせに生きる権利」があることを伝え、その権利がおびやかされた時にどうしたらよいかを具体的に解説しているので、子どもたちの学校生活のお守りとなるでしょう。

『[あなたの権利を知って使おう 子どもの権利ガイド](#)』は、国際人権NGOアムネスティ・インターナショナルの本で、元国連大使で俳優のアンジェリーナ・ジョリーや、子どもの権利条約の翻

案に参加した弁護士が執筆しています。子どもの権利条約の理解と現状、そして世界各国の子どもたちが権利をめぐるどんな活動をしているかを取り上げます。権利とは使えるものであり、そして自分を守ってくれるものでも理解できる本です。マララ・ユスフザイさんとグレタ・トゥーンベリさんが本書を推薦しています。

『[そうなんだ！ 子どもの権利](#)』は、子どもたちの身近な問題をマンガで描き、そこを糸口として権利について解説する入門本です。『[せかいにひとつあなたのうた](#)』は、だれもが生まれたときから自分の「うた」を歌っているのだと、権利を「うた」として詩的に描いた美しい絵本です。

また、戦争で隣国に疎開した少女の友情を描いた絵本『[シッカとマルガレータ 戦争の国からきたきょうだい](#)』や、ネグレクトの母親とくらす『[シグのおうちはどこ？](#)』、難民を理解する『[ようこそ！わたしの町へ](#)』などは、多様な視点から子どもの権利について考えられる絵本です。

『[からだのきもち 境界・同意・尊重ってなに？](#)』、『[考えたことある？ 性的同意](#)』は、各自が決めた境界を同意なしには乗り越えてはいけないこと、それを互いに尊重することを「からだの権利」として伝える絵本とコミックです。

私たちは、子どもたちが様々な角度から権利にアプローチして、自分を大切にし、また相手も尊重でき、そして自分の考えや意見を生き生きと表現してほしいと願って本づくりをしています。ぜひ図書館でも、権利に関する本を子どもたちに手渡す工夫をしていただけたらと願っています。

(ほりきり りえ：子どもの未来社)

「めくる楽しさ」提供するメディアに

杉浦 まり

「元気がない金曜日の朝。でも読売中高生新聞を読むと、いつも笑顔になって学校へ行くことができます」

「部活や勉強のスキマ時間を見つけて読んで。とても読みやすく、面白い記事ばかりなので、時間を忘れて読める」

最近、読者アンケートに寄せられた中高生の声だ。子どもから大人に成長していく過程で、ワクワクしながら紙をめくる機会が減っていく中高生に、新聞の面白さを実感してもらおう――。

それが、私たちの役割だと考えて日々、編集に当たっている。

読売中高生新聞は、読売新聞社が毎週金曜日に発行している中高生向けの週刊の新聞だ。

オールカラー24ページで、購読料は月850円。



読売中高生新聞 ニュース面

国内外のニュースを

中心に、スポーツ、学習、ファッション、エンタメなど、幅広いジャンルの情報を掲載している。

販売部数は7万3000部（2024年12月のABC部数）に上り、中高生向け媒体としては、最も読まれている新聞だ。

読売中高生新聞の出発点は、読売新聞本紙と、小学生向けの「読売KODOMO新聞」の橋渡しとなる、10代向けのメディアを作るという考えだった。

子どもたちが読みやすいように、文字を大きくし、イラストや写真も多用しているKODOMO新聞と、主に大人を対象にしている読売新聞本紙には、大きな隔りがある。小学校を卒業したば

2

かりの子どもに本紙を読んでもらおうと思っても、そのハードルはかなり高い。そこで、KODOMO新聞を卒業した読者が無理なく購読を続けられ、将来、本紙の読者にもなってもらえるようにと、2014年11月に創刊した。

取材・編集は、主に読売新聞社会部の記者たちが担当している。事件や災害、行政、選挙、芸能など、様々な分野で取材経験を積んだ約10人の記者たちが、各自の得意分野を生かした取材をし、写真やイラスト、図表をふんだんに使った見やすい紙面作りを行っている。

1～7ページは「ニュース面」と位置づけ、国

内外のニュースや話題を紹介している。毎週の「顔」ともいべき1～3ページの巻頭特集では今年、開幕が迫ってきた大阪・関西万博（1月10日号）、アメリカ・トランプ

大統領の2期目スタート

（1月24日号）などを取り上げた。

意識しているのは「イチからわかる紙面作り」だ。例えば、「大人向け」の新聞では当然のように出てくる「右派、左派」「エンゲル係数」といった言葉も、初めて聞く中高生には、意味がわからない。言葉の表現一つ一つにこだわって、分かりやすく解説することを心がけ、ニュースの背景や本質にも踏み込んでいる。

中高生が考えるきっかけになるようなテーマも、積極的に取り上げている。例えば今年2月7日号では、「紙の教科書、なくなる？」と題し、タブレット端末を使う「デジタル教科書」の利用拡大

の動きを紹介。デジタル教科書のメリット、デメリットや学校現場の現状を盛り込み、授業などでも活用できる内容に仕上げている。

こうしたニュース記事は、毎月第1週に特別付録として折り込んでいる時事問題集「時事王」で「総ざらい」ができる。大手予備校「代々木ゼミナール」の協力を得て、5年前から制作を続けている。

最初のページは、ニュース面で扱ってきた様々なテーマを図表などとともて紹介し、問題点や自分の考えをまとめる「ワークシート」。最近では、若者のSNS利用規制の動き、独り暮らし高齢者の増加といったテーマを取り上げた。

次に、解答欄つきで入試問題さながらの「テスト」があり、最後には選択式問題が並ぶ「ドリル」がついている。

高校、大学入試では近年、思考力、問題解決力が問われる傾向が強まっている。この特別付録を解いてみるだけでも、ニュースのポイントや覚えておくべきキーワードがつかめるはずだ。

効率よく学びたい「タイパ重視」の中高生

や、最新の時事問題のツボを押さえた受験対策を検討されている先生方の役に立つのではないかと考えている。

紙面の前半の多くはニュースが占めているが、頭を使う情報ばかり並んでいても、中高生は読み疲れてしまう。忙しい10代が、週1回新聞を手に取り、面白く読み続けてもらうための工夫も不可欠だ。

便利な文房具や簡単にできる料理のレシピ、流行のファッションアイテムなどを紹介するページや、映画やドラマ、テーマパークなどの最新情報を見開きで紹介する「ウラ撮り」、旬の著名人を紹

介する裏フロント面「PERSON」は毎週掲載している。

おすすめの本を紹介する書評コーナー「ほんのレストラン」では、ビブリオバトルや人気作家のインタビューを紹介することもある。

さらに、様々な職業の人を取り上げ、1日のスケジュールや仕事のやりがい、どうしたらなれるのかを掘り下げる「シゴトビト」も、創刊当時からある人気企画だ。

駿台予備学校のカリスマ講師らの監修で、大学受験に役立つ情報を提供する「合格応援!FLY HIGH」など、大手予備校とのコラボ企画もあり、中高生の将来に役立つ情報を盛り込んだ企画にも力を入れている。

そしてもう一つ、最近重視しているのが、読者との「双方向性」だ。



読売中高生新聞 フィーチャー面

アプリ「Yteen」を通じて10代ならではの「あるある」などを投稿してもらい、紙面に掲載する取り組みは創刊から続けているが、昨年からはお題を読者からも募集し、読者同士が交流できるリアルイベントも企画。

最近1年間で投稿数は3倍ほどに増えていて、読者の声を生かした紙面作りにもつながっている。

今の10代は、生まれた頃からインターネットがあり、自分の関心のある情報にすぐたどり着くことができる「デジタルネイティブ」だ。しかし、紙をめくることで、自分が知らない世界を知り、たくさんの発見をする面白さは、今も昔も変わらない。

昨年で創刊10周年を迎えた。今後も「めくる楽しさ」を提供し続けるメディアでありたい。

(すぎうら まり：読売中高生新聞編集室)

「学校司書」というお仕事！

常岡 陽子

1. 学校司書と学校図書館

11年前にこの世界へ足を踏み入れました。そこで感じたのは、この仕事はとても奥が深く、広い知見が必要だということです。また学校図書館は、学習指導要領に基づいた「主体的で深い学び」を支えるのに欠かせない場ですが、小中学校の図書館は発展途上にあり変化の時を迎えていると感じています。大きな可能性を秘めている学校図書館で何ができるのか、模索しています。

2. 「ゆるっと情報交換会」のスタート

まず、市内25校の学校司書がつながる場を作ること考えました。それまで司書同士のつながりは弱く、研修や情報交換の機会は年2回（計4時間程度）でした。「もっと勉強会や情報交換がしたい」という声が多く聞かれる中で、2021年9月に「ゆるっと情報交換会」をスタートさせました。この会は「鎌倉市学校図書館の充実」と「楽しく仕事をするために」を目的に、有志メンバーで2か月に1回オンライン開催しています。情報共有が進むことで、一人職の不安が軽減され、各司書のスキルアップにもつながっています。さらに、25校の学校司書が繋がるきっかけにもなり、普段から情報交換が活発に行われ、支え合う関係も築けるようになりました。

今は、以下の3つの内容で進めています。「①各校の取り組み紹介」「②Google ミニミニ講座」「③各学校の近況報告、質問、相談など」です。今後も、ニーズに応じて内容を変えながら、鎌倉の学校図書館の充実を目指し、「ゆるっと」続けていきたいと考えています。

3. 学校図書館Googleコミュニティ（SLGC）への参加

「SLGC」とは学校図書館で活用できるGoogle ツールやICT（Information and Communication Technology・情報通信技術）の使い方を学び合い、情報を共有する場です。



不定期ですが、学習会も開催しています。興味がある方は、ぜひ「SLGCサイト」を覗いてみてください。私は、この学習会に参加し、Google ツールを一通り使えるようになり「Google教育認定者」を取得しました。また、世話人として関わることで全国の司書さんや先生方とのつながりが生まれ、視野も広がりました。これらのことは私にとって大きな学びの機会となり、現場で生かされています。

例えば、開館時間が短い課題を、学校図書館のホームページ（Googleサイト）を作成し、いつでもどこでも図書館の情報にアクセスできるようにしました。蔵書検索（カーリル学校図書館支援プログラム）や本の予約も可能で、登校できない生徒も図書館を利用できる仕組みを作ることができました。他にも、先生方とのやりとりをGoogleチャットにしたことで、情報共有がスムーズになり授業支援にも役立っています。ICTの活用によって解決できることは多いと感じています。

■カーリル

<https://gk.calil.jp/>

4. 読書バリアフリー法と学校図書館

2019年に「[読書バリアフリー法](#)」が成立し、学校図書館にも「大きな字の本」「LLブック」「マルチメディアDAISY図書」など様々なバリアフリー図書を取り入れるようになりました。読む手段は一つではなく、自分にあった方法で本を読んだり情報を得たりすることは「個別最適学習」の根っことなる大事なことではないでしょうか。しかし、読みの困難を抱える子どもや保護者もその存在を知らない場合も少なくないと感じています。「実は読めるのに、読めない」となってしまうことはとても辛いことです。

学校図書館は、子どもたちの「読む力」を育む場です。合理的配慮の視点も大切にしながら、すべての子どもたちが読書を楽しめる環境を整えていきたいと考えています。

また同時に、「読みの困難」や「バリアフリー図書」はまだまだ知られていません。まずは知っても

らうことが必要だと思ひ、学校外でも活動しています。「**デジタル子どもゆめ文庫**」(公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会)は、学校だけでなく、本人・保護者・支援者からも申し込みができます。必要な方に届いてくれることを願っています。

5. これから

授業では、「**学習者主体の学び**」が益々重視されるようになってきています。学校図書館はそれを支える役割があり、いつでも情報と環境を整えておく必要性を感じています。そのため、「**人と情報**」をつなぐ学校司書の存在は重要で、図書だけでなく、著作権や新聞、ネット情報の特性を理解する専門家として

ての力が求められています。そこで、市内司書のネットワークを最大限に生かし、授業支援で利用した資料や、学年やテーマごとのおすすめ本などをGoogleドライブで共有する準備を進めています。1人では難しかったことをつなげることでより良い情報と環境を整えて行きたいと考えています。そして、それぞれの学校、先生、生徒にあった丁寧な支援につなげていきたいです。「**学校司書**」は「**一人職**」ですが、つながりを持つことでさらに磨きがかかる職ではないでしょうか。子どもたちが毎日通う場にある「**学校図書館**」で何ができるのか、引き続き模索していきたいと思ひます。

(つねおか ようこ：鎌倉市立中学校司書)

「10代がえらぶ海外文学大賞」、はじまります。

魅力的な作品あふれる海外文学を、10代にもっと読んでもらいたい！

そんな思いであらたな文学大賞がはじまります。第1次選考は年齢制限なく、誰でも参加できるけれど、最終投票の権利は10代のみ。10代が自分たち自身で選ぶ自分たちの文学大賞です。

対象作品は2024年に日本で刊行された、10代が主人公の海外(翻訳)文学。10代が主人公なら物語に限らず、グラフィックノベルや絵本、古典新訳も含まれます。ただし、選考委員が翻訳・監修した本は対象外です。選考委員は6名。翻訳家の越前敏弥さん、金原瑞人さん、三辺律子さん、奈倉有里さん、書店員の河出真美さん、司書教諭の私。他にも運営を担う実行委員として学校図書館司書や書店員、編集者が裏方として支えています。

5月にある第1次投票では「これぞ！」と思ひ海外文学にぜひ1票を投じてください。継続して運営していくためにクラウドファンディングも予定しています。第2次投票では、10代を巻き込むことで参加していただきたいと願っています。ぜひ、一緒にこの賞を盛り上げてください。

くわしくは[HP](#)をご覧ください。またSNSのフォローもよろしくお祈ひします。

(なるかわ ひろこ：玉川聖学院司書教諭)

DMかたるく

かがくるBOOK 科学漫画

サバイバルシリーズ<2025年 新刊セット>

新作&改訂版の新刊セット! 更新をお願いします



第2シリーズでアニメ化が決定した新作「海面上昇1・2」、「月」と第1シリーズでアニメ化された改訂版「南極」の新刊セット。

テレビ
アニメ化
決定!

© Gomdori co., Kim Jeung-Wook, Han Hyun-Dong / Mirae N / Ludens Media / 朝日新聞出版 / NHK・NEP・東映アニメーション

文: ゴムドリCo.ほか / 絵: 韓賢東ほか / 全4巻

揃定価5,280円(揃本体4,800円+税10%)

NDC450ほか / B5変型判 / 平均181頁 / ISBN978-4-02-332099-4

朝日新聞出版

人類最大の発明品 お金を哲学する! 9カ国で刊行!!

世界 お金の大図鑑



~謎と秘密~ [監修] 青柳正規



貝殻のお金から仮想通貨まで、お金の歴史や文化、社会の諸問題などを描く! 人類の幸福と進歩だけでなく貧困や戦争ももたらすお金の「謎と秘密」に迫る。

定価3190円

ISBN978-4-86706-050-6



シリーズ
既刊

世界文字の大図鑑 ~謎と秘密~

世界11カ国でヒット! 定価3190円 ISBN978-4-86706-045-2

西村書店

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-4-6

☎ 03-3239-7671 Fax.03-3239-7622 (税込価格)

稲葉茂勝/渡邊 優 著
万国博覧会



知られざる歴史とSDGsとのつながり
シリーズ・とは何か①

2025年4月
大阪・関西万博開催!

170年以上に及ぶ万博の歴史を
その起源にまで遡って紐解き
貴重な資料や珍しい写真類を
ふんだんに使って描く



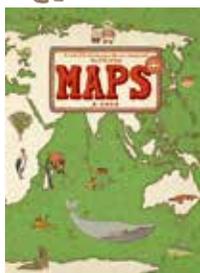
A5判美装カバー328頁 3080円

ミネルヴァ書房 京都市山科区日ノ岡堤谷町 1
TEL075-581-0296 ※価格税込

世界300万部突破の大人気絵本



マップス・プラス
新・世界図絵



アレクサンドラ・ミジェリンスカ&
ダニエル・ミジェリンスキ作・絵

24国の地図に、食べ物、
歴史的な建物、有名な人物など
さまざまな分野のイラストを
ちりばめた、
子どもも大人も楽しめる
大判絵本です。 ●定価3300円(税込)



好評既刊

マップス 新・世界図絵

42の国と地域を網羅! ●定価4180円(税込)

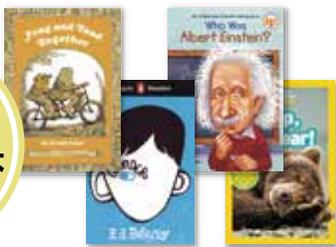


© Aleksandra Mizielirska and Daniel Mizielirski, 2012,2019
徳間書店 〒141-8202 東京都品川区上大崎3-1-1目黒セントラルスクエア
TEL.049-293-5521(受注センター) https://www.tokuma.jp/kodomonohori/

株式会社 三善

2025年度 英語名作ライブラリー

洋書絵本
セット紹介の
WEBサイトは
こちらから



eigo-meisaku.com

英語名作ライブラリー



Miyoshi 〒167-0032 東京都杉並区天沼2-2-3
TEL : 03-3398-9163 FAX : 03-3398-9170

広い世界の芸術にふれる全3冊!

美術にふれる絵本セット

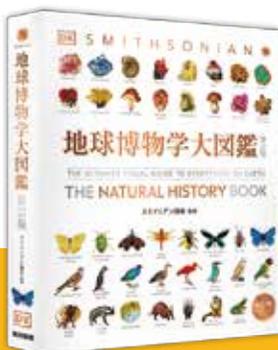
ハリエット・ヴァン・レーク/ワウター・ヴァン・レーク 作
野坂悦子/訳 ●A4変/平均26頁/定価:本体4,400円+税



モンドリアン/ヒルマ・アフ・クリント/エゴン・シーレ

朔北社

〒191-0041 東京都日野市南平 5-28-1-1F
TEL.042-506-5350 http://www.sakuhokusha.co.jp



世界最大の
自然博物館 開館!
生命の驚異的な多様性が
この1冊に!
世界75万部のベストセラー
待望の新訂版



地球生物学大図鑑 新訂版

スミソニアン協会監修

オールカラー672頁 定価11,000円(税込)

◀詳しい内容はこちらから

東京書籍



10代がえらぶ
海外文学大賞

開催決定!



まずは5/1~5/14の
第1次投票、
ぜひご参加ください!

X 10daikaigaibk

Instagram 10daikaigaibungaku

